

廿七年二月五日接受

主官 政務局



南支那の...

大正

第七十八号

奉裁

第一二二五

在東京葡國公使館門外守赤シヤ氏邸之南朝屏
朝言其後任ハエテ尉ニシテトコタ氏ニ内定致シ
趣聞女便ナクモハ心海申進爲、好具

次官



明治三十二年三月廿九日 在佛 爲世一

外務大臣陸奥宗光 敬

廿七年二月十一日 附録課 附録

在佛國日本公使館

廿七年四月十二日接受 主務 政務局

マカオ内政

大臣

次官 関子

館事領本日港香在

公外二十七号

新任碼頭知事

カプラーニテネーガ、ワオルタ、エゴモタ氏

Capitain de Douane Hosta a Costa) 本月二十二日

当地を二十四日新任地碼頭へ出発致候此段申進候也

明治三十七年三月二十八日

在香港領事館事務代理

書記生

深谷成三

外務次官 林董殿



廿七年四月十二日接受

次官

館事領本日港香在

公外四三号

葡領碼頭知事更件件

葡領碼頭知事セノール、ホリス、エゴモタ、景キ、本國政府

ヨリ 歸朝ノ命アリ、疾リ、出發シ、シレガ其後任者ナ

ルセノール、エゴモタ、オカスト、エドリック、ス、カール、(Banker

Eduardo Augusto Rodrigues Galhardo) 本

月十二日着仕シタル由ニ存ス

石及報告書 取具

在香港

明治三十七年五月十日 一等領事 清水藤三郎



外務次官 小倉壽太郎殿

曆年五月二十七日接受

政務局長 中田

主務 庶務課

マカオ内政

0350

REEL No. 1-1097

第二号 五月二日 陸軍

主管 政務局



苗欣 為政

馬公 七十一号

受第四九四七號

校官

所發ゴア (Gua) 強敵の強はリ年々さうし
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)
のいふ海軍の志事(ガバル) (Gabalander)

明治三十二年四月廿号

在香 領事之野原
日本領事館

在香 領事之野原

在香 日本領事館

0351

REEL No. 1-1097

前二年八月廿七日接受

主管理

マカオ内政

香第五

文第三

新何境門吉字セニツル、おんタ、エ、エスタ
の去ル、百、回國此、ア、マス、ル、海、の、高
地、有、望、十、百、直、子、の、高、位、地、に、出、る、
右、及、指、号、長、約、の、

三、香、香、

領事と



此、大、臣、の、書、字、も、用、意、に、

在香港日本領事館

第4

明治四十一年五月廿五日

警政事務

第二課

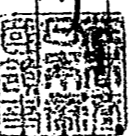
マカオ由政

香口第九〇号

澳門總督辭職之件

受領一〇三〇六

澳門總督 督世ニホル、コシチニホ (Viceroy
 Constanche) 氏ハ今般辭表ヲ本國
 政府ニ呈シ、其ノ港務長 カカランテ
 オコテ、サ (Captain Diogo de Sa) 氏總
 督代理ニ任セラレタリ、由ニ有之也、
 新聞紙ニ傳テルニ據テ、依レハ、同總督
 辭職ノ理由ハ、第一、原丸事件坂
 博門ニ於テ武器輸入ノ案スル規則
 ヲ撤布シタルニ、中央政府ニ於テ
 之ニ認可ヲ得ス、及テ撤回ヲ命
 じタルニ、基固セリトノリ、有之ハ
 右諸条考査中ノ事ニ由リ、其ノ
 在香港
 同治甲午春、官 副領事 移住 居 所
 外務大臣 伯高 尉林 董 殿



明治四十一年八月三十一日

管政務局

第一課

アオカ内政

香公第ハ八七号

受第一七四五七

澳門總督着仕、途次未港、件

新任澳門總督ジエ、エ、エ、ロケータス中佐 (Lieut. Col. J. A. Rosadas) ハ家族及副官ト共ニ昨十七日入港、佛國郵船ニテ着港セリ當日市中見物、後当地總督、晚餐會ニ臨ミ今朝八時十五分同國砲艦「リオリマ」号ニテ澳門ヘ向テ着仕、途ニ上リ莫新任澳門陸軍司令官ペレーラ大尉 (Captain Pereira) モ同行セシ由

右及報告矣

敬具

明治四十一年八月十八日

在香港

在香

副領事 船津辰一郎

在香港日本領事館

外務大臣子爵寺内正毅殿

第 門

明治二十二年八月十一日發 善政務局

公信第二五號

第一課 一三二七九

第一課

明治二十二年八月三日
在香港

領事 船津辰一郎

船津辰一郎

外務大臣白河次郎小村壽太郎殿

澳門總督更迭件

現在澳門總督「ロシエーダ」氏 (Rocadas) 氏着任後本年一年内外に過キサルに三四回葡領「アフリカノアンゴラ」(Angola) 總督に交替シ本月中旬頃ニ新任地ノ向キ出發スル事決定スル由

在香港日本領事館

右及申報告具

發員

蘭島改

書

第 5 門

明治四十二年九月三十日

警務政局

第二課

公信第三六號

受第一七三三〇

明治四十二年九月二十三日

在香港

領事 船津辰一郎



外務大臣内閣小村壽太郎殿

澳門新總督未着件

先般亞布利カアゴラ總督ニ轉任シタル口

チーダス氏、後任トシテカモリア總督ヨリ澳

門總督ニ轉任シタルマリーキニス氏 (Marsden)

Marsden) 前任地ヨリ一昨日当地着澳

門ヨリ汕頭セタル自國砲艦ニ轉乘シテ

在香港日本領事館

同地ニ向テ

口チーダス氏ハ新總督ニ事務ヲ継上テ新

任地ニ出發スル都右ナリト云フ

右及教員

敬具

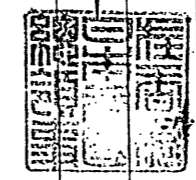
明治四十三年一月二十六日接受 警務政務局

公信第二五號

明治四十三年一月十七日

在香港總領事代理

領事 船津辰一郎



外務大臣伯爵小村壽太郎殿

澳門總督、香港總督公式訪問件

澳門新任總督セノアマライリス氏 (Senker Marques)

に着任以來未だ一回も香港總督を訪問せしことナカ

リしが本月十五日土曜日、午前、於テ葡國砲艦

「パトリア」(Patricia)にて来香 初メ公式ニ香港

總督を訪問し正午十二時半午餐、饗應了受

同日午後直ニ澳門ニ歸任サレタリ

右御事及報告候敬具

在香港日本領事館

第3門

んん

第一課

1880

備付

手印

明治四十三年八月四日接受 主官 政務局

發信第二光號

受第 17239

明治四十三年七月二十二日

在香港

總領事代理 船津辰一郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

澳門政廳民政長官出發事件

是近澳門政廳民政長官より「マニラ」(Manila) (for Manila)

「オセロ」氏より元来亞非利加西部葡領アソシエ (Associação)

一時の在勤命令より今日再任地

に降任スルこと相成り昨日本澳門に出發致候尚ホ

第 17239

在香港日本領事館

其任者未タ着任者ハ由總督副官

アヤト (Capt. Onakado) 氏之代理ニ由有候

右及報告候 敬具

第一課

第二課

第三課

第四課

五

要復寫
 第3門
 會計
 人事
 通商
 政務
 次官
 大臣

大臣 林
 次官 林
 二五八

第32号

香港發
 本府看
 二十三年十月十日
 七二〇

小村外務大臣
 船洋總領事代理

今日葡葡牙ノ革命ニ関シテハ今日迄
 ノ處当地同國領事館及澳門總督ノ
 許ハ何等公電ナク当地方面ニ於テハ
 同國人ハ何レモ半信半疑ノ間、在ルモ
 ノ、如ク從テ同國在留民一般ノ意嚮
 ハ革命黨(共和黨)ニ對シ替否孰レ
 ト之附カス方向、速ニ居ルカ如ク澳門政

二十三年十一月十四日附録一第受

廳及当地同國領事館今尚在來ノ國
 旗ヲ翻シ居リリ御参考迄

秘

複寫

書受 三三六號 丙 五月廿五日 外務省 七月一日

外務省 代理

第三二號

今面葡國牙ノ革命、其ニテハ今日迄ノ處、当地同國領事及澳門總督ノ許ハ何等公電ナク、当地方面、法ルル同國人ハ何レモ半信半疑ノ間ニ在ルヲ、如リ、遂テ同國立憲ノ段、其ノ間ハ革命黨(共和黨)ニ對シテ賛否既シトモ附カス方向ニ迷ヒ居ルカ、以テ澳門改

外務省

廳及当地同國領事館、今尚モ其國領ヲ觀ヒ居レリ、所々考テ迄

菊五子名

大臣

三平

栗

香港發 明治四十三年十月十日午前六時
東京着日 日後一三五

次官

西原

小村外務大臣

船洋總領事代理

要復寫

通商

政務 第三四号 月中旬百正午澳門總督「共和政

人事

府創立、布告式ヲ行ヒ同時、赤緑

會計

共和國旗ヲ掲ニ二十一發、祝砲

取調

ヲ放テ人民一般大ニ之ヲ歡迎頗ル

報告

盛況ナリト由、

條約

七

四十二年十一月十四日記録一節

複寫

世受ら二七〇辨 年 皇國愛國學士才力十二百九十五
日 三三三

少村外務大臣 永代総務長官

第三〇号

十月十日正午澳門總督の共和政

府創立の布告式ヲ行ハ同時ニ 赤録

ノ共和国旗ヲ掲ケ二十一日夜ノ祝砲

ヲ放ケ人民一被大ニ之ヲ歡迎頗ル

盛況ナリニ由

外務省



明治四十三年

郵政事務局

公信第三五八號

受第23708號

明治四十三年十月十二日

在香港

總領事代理 船津辰一郎

外務大臣伯爵 伊集院彦吉 殿



澳門に於ける共和政府創立布告式舉行に關する件

附總督態度

當香港に二千三百餘、葡國人あり又澳門に其屬領ナル者四百餘、聖トスル人口有シ(内歐羅巴人六百十五、亞細亞人三十八)即當方面、約六千内外、葡國人あり、這回本國に於ける革命、報達スルヤ何レモ半信半疑、向、彷徨シ、賛否何レモラカズ其方向、迷ヘル如キ姿ナリシ

在香港日本總領事館

殊に現任澳門總督マートリケス(Martinez)氏、如キ現皇帝ノ副官タル名譽職に居ル際、這回革命に反對セルモノ、

如ク這回新設、共和政府當局者ヨリ新政府、創立シ一般人民に布告スヘキ旨、電報既ニ去ル六日に到達シ居リシ

ニ拘リテ昨日迄之ヲ發表セス、又昨日布告式場、於ける「簡單」ナル演說中、「モ皇」ニ職務執行上此布告ヲ為

スニ止マル旨ヲ強ク言明セシ知ヨリ察スルハ暗ニ個人トシテハ新政府ニ反對ス、意ヲ示スルモト見ルベク且ツ氏「直々」辭ヲ表シ

提出スル由

共和政府に賛成例、有ルヲタル報導ニ拠レバ昨日澳門に於ける

ル布告式、頗る盛況ヲ呈シ將來に於ける本國及澳門に於ける

變前ニ比シ著ルシキ繁榮ト進歩ヲ来スナラント聲言シ居ル

由ナル之ニ反シ其反對例、有ルヲタル通信に據リ澳門に於ける

葡領事館

第三課

一般民衆ハ極メテ静肅ニシテ昨日ノ布告式ノ如キモ密一ノ口
寂莫ノ間ニ行ハレタル由、眞偽何レカ判然セサルハ前述ノ如
ク該地總督ガ新政府ニ反對ナル処ヲ察スルハ該地ニ於ケル
実況ハ或ハ後者ノ報導ニ近カルベシト信セリ
尚ホ天主教傳信、厄、何レモ今後政府ヨリモ維持費ヲ支給
セサルトナリタル由ナルハ當地及澳門ニ於テ傳信、厄、及教會
附屬、孤兒養育院ニ収容セル児童等ノ始末ニ関シテハ當局
者モ其ノ困難ヲ感スルナリト思ハル
右ノ参考ノ迄、友員報ヲ敬呈

在香港日本總領事館

第百五十八号

警政務局

公信第 三六六 號

明治三十三年十月十七日

在香港

總領事代理船津辰一郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

通商

澳門總督留任及其他之關係件

現任澳門總督 *Ant. Edmundo Marques* 氏が這回ノ政變、就中反對ノ意見ヲ有シ既ニ辭表ヲ呈出シ、且ニ既ニ去ルニ付公信方之五ハ号ヲ以テ及報告器候事其後本國政府ヨリ去就ノ隨意ナルモ祖國ノ利害ヲ考ヘ可成個人的感情ヲ

明治三十三年十一月八日郵送第一號

在香港日本總領事館

犧牲セラル度告訓令、接シ同總督モ一先ニ辭意ヲ歸シ當分面任スルコトニ決心シ之ニ由リ候。又澳門ノ於テハ政廳及砲台ノ軍艦ハ新國旗ヲ翻シ居ルモ兩三日前當地ノ入港シ同國軍艦アメリア号 (*Rainha Dona Amalia*) 及同國領事館ハ今尚ホ旧國旗ヲ掲揚シ候ニ奇態ノ有リ候。右印系考迄及報告候敬具。

第 一 課 第 二 四 四 六 九 號

第 一 課 第 二 四 四 六 九 號

御
上
の
事

新
五
年
辰

大臣

次官

政務

通商

人事

會計

取調

報告

條約

張復寫

人事

會計

取調

三三三

西

利

香港發
本有看
早三年
五月五日
五二五

小村外務大臣
船津總領事代理

弟三三三号

本日發行ノ当地英字新聞、依レハ澳
門政廳ハ昨日午後ニ至リ官報ヲ以
テ本國、於テル共和政府創立ノ布告
ヲ發シタル由当地葡國領事、問合
セタル、右ノ事實ナリト云ヘリ御
参
考
迄

四十二年十一月十四日配録二部受

七五

行爲

重慶三三三三三

五月廿五日
外務省
昭和二十一年五月廿五日



少村外務大臣 江得能啓

第三三三三

本日爲りノ当地英字ナリ、依ハ澳
門政廳ニ昨日本後ニ到リ官報ヲ以
テ本國ニ送ケル共知政府創立ノ存告
ヲ若シタル由当地葡國領事ニ同告
セラル。大ニ事莫ナリト云ヘリ所
考也

外務省

明治四十三年十一月十八日 香港 主官 政務局

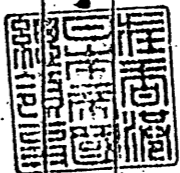
公信第 12 號

明治四十三年十一月十八日

在香港

総領事代理 船津辰一郎

外務大臣伯爵 小村壽太郎 殿



在香港葡國人より前國王マニエル陛下へ祝

電發送る件一

香港及澳門に於ける五六千、葡國人中今尚も前國王の
同情、有るモノ多ク現、去ル十五日、前國王陛下、以て
辰、相當セルリテ當地に於ける一部、葡國人、同國人
設立、圖書館長、右義ミテ左ノ如キ祝電ヲ送ル由
(原文：葡文ナリ)

在香港日本領事館

Manuel King Portugal "Wardmoreton, London"

Members Bilhiteira Portuguese and loyal vessels

Congratulate your Majesty's natal Anniversary.

之に對し前國王陛下に、右電ヲ送ル由 (原文：葡文)

President Bilhiteira Portuguese, Hongkong Thank

The members for their kind congratulations

右の事を、送及報告す 敬具

第 8 門

四十二年十一月十八日

菊五口

大臣

次官

政務

通商

人事

會計

取調

報告

三十四日

東洋

外務大臣

香港

甲子年十一月廿一日

船津総領事代理

第四一號

當地新聞社

達

之ハ昨日澳門

ニ於テハ守備兵ハ政廳ニ對シ叛亂的態度ヲ以

テ尼僧進放勵行ヲ迫リタル間ニナク靜穩ニ

歸シタル由委細郵便

要復寫

第三門

古

四十二年十二月五日記録一節受

復寫

庚子年三月八日

五月廿七日
外務省
第三号
第一〇二〇
一〇二

外務大臣

駐米大使

第一号

当此紛争甚急之時、投道ニ投シ、此の邊り

ニ於テ守備兵ニ以テ對シ、報復の態ヲ示シ

テ、尼僧進放、所リヲ迫リ、此を問モ、ナリ、靜養ニ

帰シタル由多、細部便

外務省



葡領事館

第一課 栗田

警務局 警務政務局

公信第1233號

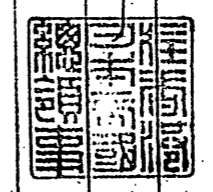
受第27742

明治四十三年十一月三十日

在香港

総領事代理 船津辰一郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿



澳門守備兵不穩ノ件

本月中旬葡國新政府ヨリ澳門政廳ニ対シゼスイト
 教會 (Jesuit & Society of Jesus) ニ屬スル僧侶ヲ追放ス
 可キ旨電命アリ同僧侶ハ從來澳門ニ於テ教育慈
 善ニ関スル有益ナル事業ヲ經營シ居リ忽然之レテ追
 放スルハ居留民ニトリ不便甚タシキニ依リ葡國人間ニハ
 命令取消方ニ付本國政府ニ向ヒ電信ヲ以テ嘆願スル處
 在 香港日本領事館

四十二年十一月三十日

アリシモ聞届ケテス 澳門總督ハ本國政府ノ命ナルニヨリ
 余義ナク同僧侶ニ対シ退去方命令スル所アリ同僧侶
 十余名ハ本月二十日頃ヨリ該々各地ニ來リ當地ヨリ新
 嘉坡 交趾支那其他各地ニ向ケ夫々出發シタリ
 然レモ昨夜當地ニ達シタル電報ニヨレバ澳門ニ於ケル守備兵
 (約七百名)ハ政廳ニ対シ僧侶追放ニ関スル本國政府命
 令ノ実行ヲ迫リサンタローザ尼寺 (Santa Rosa Convent)
 ヨリ尼僧ヲ盡ク追放セシメテ求メ反抗ノ態度ニ出タルカ其
 後ノ電報ニヨレバ何等大ニ騷乱シ醜ス事ナリ遂ニ平穩
 ニ歸シタル事ナリ

當地新聞紙ノ報スル所ニヨレバ守備兵不穩ノ狀況ハ已ニ數
 日前ヨリ其兆候アリ彼等ハ給料ノ増額ヲ期待シ居リ
 之ガ澳門政廳ノ財政ニ許サザル事明トナリタルニヨリ

本日ノ結科仕拂日前日ニ於テ右ノ如キ態度ニホテタルナリト
云フモアレモ実否判明セズ
尼僧ノ放逐ヲ要求サレタルカンヌローザ尼寺ニ當地ニ父
兄ヲ有スル葡英人ノ子弟及英國人女教師ノアリ是等ハ
不穩ノ形勢アル共ニ安全ナル箇所ニ轉居シタリト云フ
當地葡國領事館ニ未タ何等ノ公報ナキ由ナリモ本件
ハ大事ニ至ラス鎮靜ニ帰リシタルニ疑ナキカ如シ
右要旨ハ本日不取敢電報致置言ハ共為以差考ハ右及
報告ヲ敬具
本信寫ハ北京公使ヘモ及送附置言ヤ

在香港日本領事館

明治四十三年

主務 政務局

公信第四三三號

明治四十三年十二月一日

在香港

總領事代理 船津辰一郎

外務大臣伯爵小村壽太郎殿

澳門守備兵不穩 関スル件一オニ

本件「関シテハ昨十一月三十日附公信オ四三三号ソラ以テ
及報告置置マ共本日當地ニ達シタル報導ヨリ尚詳
細ノ情况左ニ及ル報告マ

今更ノ騷擾ニ関シテハ去ル二十八日夜首謀者間ニ密議アリ
其内容ハ判明セザルモ海陸軍人間ニ翌二十九日ヲ期シテ
燬テスル事」ニ決シタルハ事實ニ徴シテ明ナリ

四十二年十一月廿三日記録一部受

在香港日本領事館

二十九日午後二時同港碇泊中ノ葡國砲艦ハトリア号
(Patia)ヨリ武装セル一團ノ水兵短艇ニ乗リテ上陸シ軍
銃ヲ連發シテ相圖ラナレ陸兵側ヨリモ又發砲シテ之ニ應スル
ト共ニ多数ノ兵ハ兵舎ヲ出テ、水兵ニ合シ軍ノ樂隊ノ先
導ヲ以テ街上ニ示威運動ヲ行クノ道ノ兵舎
ヨリ陸兵ヲ誘ヒ合セラ蓋ハ不穩ノ形勢ヲ醸シタリ
其中百餘ノ一團ハ政廳ニ至リ總督ニ面會ヲ申込ミ
タリ總督ハ面會セリト云フモアリ又或ハ之ヲ拒絶セリト
云フモアリ実否確カナリモ免ニ角暴動兵團ノ政
廳ニ対シテ申出タル要求ノ大要左ノ如キモノナリ
一 宗教反對主義ヲ本國政府命令ヲ強行スル事
二 宗教關係者ヲ追放スル事
Franciscan 及 Concession 尼僧モ此内ニ含マセル事

系

受第 2774 號

第 一 課 東 亞 課

支那 支那 支那

三、Yokohama 新聞社(政廳、機關紙)ヲ閉鎖セシムル事、
 四、兵士ノ給料下附ノ際金銀貨ヲ替申シテ増カスル、
 右要ホノ四給料増額ニ對シテ、政廳ハ如何ナルニ回
 答ヲ與ヘヌルヤ判明セザルカ他ノ點ニ關シテハ盡ク兵士ノ要
 ホヲ容レタル如ク Yokohama 新聞社、即、同夕刻閉鎖サ
 シ慈善的ノ事業ニ從事シ居ル同地ニ尼寺ノ尼
 僧ハ香港ニ向ケ同地ヲ引揚ゲテアリ、
 同地ニ屬スルニ尼寺ニ於テハ兵
 士ヲ退去ノ命ヲ受ケテ非常ニ驚駭シ同寺ニ於テ
 教育シラル各國人ノ子弟ハ夫々安全ナル箇所ニ移レ
 尼僧等ハ引揚テ備ト驚愕ノ為メ大混雜ヲナシタ
 ル模様ナリ、當地英國人ニテ其子弟ヲ右尼寺ニ
 入レアリシモノハ騷亂ノ電報ヲ受クルト共ニ二十九日夜直ニ
 一在香港日本領事館
 特別ノ小蒸汽船ヲ仕立テ澳門ニ向ヒシモノアリ昨三十日
 ハ尼僧及關係者ノ澳門ヨリ當地ニ引上ケ来ルモノ統々
 アリテ、追放セラル、フランスカニ尼僧ハ芝罘ニ赴キ同種
 ノ慈善事業ニ從事スル筈ナル由ナリ、
 右通り澳門政廳ニ於テ兵士ノ要求ヲ容レタル為メ本件騷擾ハ
 大ニ暴亂ヲ醸スヒ至ラズニテ鎮靜シタルガ兵士等ノ要求ハ悉ク不
 當トモトシテ當地方外人ノ一般ニ非難スル所ナリ、殊ニ尼僧ノ放逐ヲ
 迫ルガ如キ輿論ハ其在任ヲ希望シ本國政府ニ放逐命令ヲ取消シテ
 電請セシ位ナルニ付甚タ世間ニ反感ヲ買ヒタル模様ナリ、
 高宗教ニ關係セザル箇人ニテ辦護士タル一葡人其他一二ノ
 者或ハ事情ヨリ兵士ノ脅迫ヲ被リ當地ニ避難シ居ルモノ
 モアリ、

右友報告ニ敬具 本信寫、北京乃才三艦隊ハ送附致ス、

明治四十三年十二月十二日發

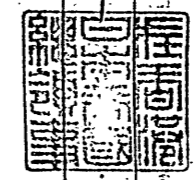
郵政務局

郵便第四三七號

明治四十三年十二月二日

在香港

總領事代理船津辰一郎



外務大臣伯爵山本壽太郎殿

傳為

澳門總督更迭之聞

現澳門總督 (Eduardo Augusto Marques) 之本國之
 革命アリシヲ以テ免角面自カク其ノ境遇ノ陷リ
 不愉快ナリ今日迄其地位ニ在リシ由ルカ過日陸
 海軍守備兵ノ暴行アリシト共ニ更ニ詳表ヲ呈出シ
 之ニ処遂ニ去月二十九日願意庫角ケラシ由角分ノ向
 一在香港日本領事館
 法院長 ヴィンセント氏 (Margues Vidal) 總督代理
 了為ス上旨公表セラレシ由
 右及報告候敬具

追々本信回ニ北京ノ及送付里候也

第五〇〇

受第 27745 號

第 一 號 東 地

第百五十九号

第二課
第一課
同

明治四十三年十二月廿六日接受 警務政局

公信第四五一號

受第28955號

明治四十三年十二月十三日

在香港

總領事代理船津辰一郎



外務大臣伯爵小村壽太郎殿

澳門之於葡國新國旗揭揚式舉行件

附談地昨今之形勢

一新國旗揭揚式

這回葡國革命後澳門之於葡國政體始々軍艦之主
此迄共和政府國旗即青紅二色旗之揭揚來り
這回本國政府ヨリ持て發送し來りし新國旗到
着せし由ニテ去ん十一日改メテ右新國旗、揭揚式ヲ奉
行しし由奉行、當時砲台ヨリ廿一發、禮砲ヲ發し
現任總督代理、式場ニ臨み、萬歳ヲ三唱し、何事
敬禮し、後共和政府ノ萬歳ヲ三唱し、何事
愛國的演説モナク、式ニシテモ活氣ナク、極メテ間單寂
寞ナリし由、以テ總督代理始々一般人民中ニモ今尚ホ
共和政府ニ對シ、慍焉ヲサスモノアリ、云々是レ當地
ニ於テ、葡國領事館ハ本國政府ヨリ何事訓令ナキ
由、今尚ホ旧國旗ヲ掲ケ居リ、又國体變更ニ關シ
テモ同僚間ハ何事公式通牒ナシ

二駐屯軍ヲ二回叛亂ノ隱謀

在當地葡人ノ談ニ據ル、澳門駐屯軍ノ兵士中曩々
教會以外ノ僧尼ヲ殺逐スルコト及俸給ヲ替

3
門

3

更(即增加)等より迫り目的を達せんとす。以て更に去る七日より期して予二回叛乱の運動を計画し居りし由あるも其二三日前に於て本國政府より去月二十九日兵士一叛乱の行動を對して既に前任總督が認容し得ざるを以て之を不同し附るも今後再び斯くの如きコトありんか決して之を寛假せざらば軍律に照して嚴重に処罰せしむべしと來電ありし爲遂に予之回を計畫し見合はせんとす。以て軍艦を經過せしむる澳門の住民中より稍不安の念を懷き向て動かしんとす。左に英國の船も居住英人保護の爲砲艦二隻を該地に派遣し其内一隻は既に他轉航せり。以て大和を同一目的を以て巡洋艦「カネクラ」(Canine)を當地に派遣せしむる。

在香港日本領事館

清國人民中一重に澳門以外に住民を其附近に轄し有る有志家葡國這回革命ありしを以て例に境界問題の関して從前より一層強硬な説を主張するも一多々中より清國の澳門を葡國王政府の讓與せんを共和政府の讓與せん義務とし宜しと此様之乘り高壓手段を以て澳門を奪回せしむる一暴論を主張するもアリテ其意氣は甚旺なり。想つて葡清兩國の澳門境界問題の解決は今後一層困難なるべし。尚ホ昨今漢英新聞に報る所の如く清國一部人民は同國官憲に向て澳門居住英人保護の爲軍艦を派遣する要求せし由其結果既に二三隻の砲艦(小艇)を流敷の西江に警備艦として該地に派遣し然し新式軍艦五百余を香山縣下澳門附近に地裏に派遣し

一 朝澳門之於河等紛擾之釀成トアラバ右軍
隊直々之澳門之突進ニテ居住者保護ノ任ニ
當心ノ事意氣込テ由
右行第考迄及具報候致具

在香港日本領事館

葡領事館

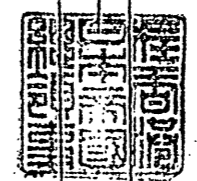
明治四十三年十二月十八日接受 郵政務局

公信第九九號

明治四十三年十二月十九日

在香港

總領事代理船津辰一郎



外務大臣伯爵小村壽太郎殿

澳門總督代理更迭一件

澳門總督マルティン (Martins) 辭任歸國ト共法

院長ウイグナル (Wignall) 總督代理

命也。ウイグナル氏本月二日附公使信第四三六号ヲ以テ

及報告置候。今ウイグナル氏亦總督代理ヲ辭

シ前總督副官ニシテ民政長官多リシマセトウ氏

(Acil Machado) 總督代理ヲ命也。多シ由テ

ウイグナル氏ノ辭任理由不明ニテ當地方葡人中

モ怪訝ノ念ヲ爲シ居ル由有之候

右及報告候敬具

追而本信寫シ北京ニ及送付置候也

第27門

葡領

受第29116號

第二號

河

用ひて之を編みしは、
 此の儘に之を編みしは、
 地味に之を編みしは、
 市に之を編みしは、
 級編みしは、
 及、其の編みしは、
 編みしは、
 編みしは、

市に之を編みしは、
 級編みしは、
 及、其の編みしは、
 編みしは、

編者附言

市に之を編みしは、
 級編みしは、
 及、其の編みしは、
 編みしは、

外務省